

津軽十二湖 自然休養林 多言語案内

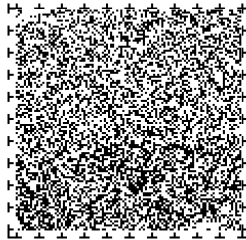
App Store

Google Play

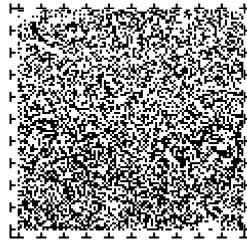
Uni-Voice



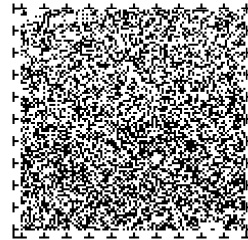
English



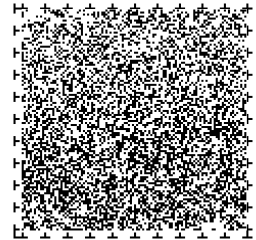
簡体中文



繁體中文



한국어



日本語

津軽国定公園十二湖 は、白神山地の北西、青森県の西海岸 深浦町にあり、大小33の湖沼がブナ林の中に連なるように点在しています。

江戸時代（1704年）に発生した大地震により、沢がせき止められる、などにより、湖沼が形成されたもので、崩山から見ると、湖沼が12見えたことから「十二湖」と呼ばれるようになりました。

白神十二湖森林セラピー基地には、4つのお薦めコースが設定されていて、大小様々な湖沼群とブナ林が織りなす変化に富んだ自然景観を楽しみながら五感を研ぎ澄まし、癒やしと心身の健康維持・増加、病気の予防に活用いただけます。

十二湖の中でも一番の人気スポットは「青池」で、季節や天候で変化する神秘的な「青色」が特徴です。

湖沼群のほかにも、浸食崩壊により凝灰岩の白い岩肌があらわになり、アメリカのグランドキャニオンを連想させる「日本キャニオン」が有名です。

森の中にある茶処「十二湖庵」では、沸壺の池の岬から湧き出している名水で点てた抹茶で、散策の疲れを癒やして下さい。

